

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.165

2013/08/20

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

## 近年にないキノコの多発

四季の森のチリメンチチタケ (13/08/03)

年中何らかのキノコの発生は見られる森ですが、今夏の発生は近年希な状況です。7月下旬に降雨がある年は、8月初旬の発生が多いのが過去の観察からもわかっていますが今年は正にその年に当たります。この時期、特にキノコの発生が多い場所は「天然更新試験地北側」・「四季の森」・「中央湿原奥」です。

ハイカマモテングタケ (13/08/03)

ウラグロニガイチ (13/08/03)

セイタカイグチ (13/08/03)

サンコタケ (13/08/03)

コイヌノエブテ (13/08/06)

ムラサキホウキタケ (13/08/07)

コンイロイッポンシメジ (13/08/07)

ギアミアシグチ (13/08/03)

タマゴタケ (13/08/05)

シワチャヤマイグチ (13/08/05)

ニシキベニハシ (13/08/05)

特に今年はイグチ科とヒダナシタケ類の発生が多く観察のしがいがある。もっとも種名を同定するのが大変で度々旧会員の小寺祐三氏の手を煩わすことになった。有り難うございました。



## 各種視察等も相次ぐ・・・



長浜市人権委員会 (13/07/22)



サントリーエコ戦略部山田氏一行 (13/07/25)



滋賀県森林審議会 (13/07/24)



今年も3日間自由研究指導 (7/23・7/31・8/6)

森の保全作業も手を抜けません。その間をぬって各種団体や先進的な取り組みを実施しているサントリーの



砂防作業も続く (7/19)

エコ戦略部との現地案内懇親会は大いに参考になりました。5月に要請を受けた地元永原小学校の中庭に森の学習を身近な



猛暑の中の土壌運搬 (7/20)

ものにとというビオトープ造りも、過去の付属湿地の経験を生かして取り組みました。第一段階の作業は完了したものの後は、子どもたちが自分たちが造ったという実感を感じられる秋以降の植栽を待って完成の運びとなるはずです。これらの取り組みには、毎日森のあちこちで実施している保全作業・調査が基礎になっています。自然との対話は、自分自身の対話でもあり、自然と人間の関わり方を学べる場でもあります。



「大雨警報」発令中先生方とビオトープ造成 (13/07/29)



第一段階完了のビオトープ (13/08/08)